

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

学部学生の聴講も歓迎

記

1. 講師 昭和大学 歯学部 歯科補綴学講座

馬場 一美 教授

2. 演題 デジタルデータ統合活用による

補綴歯科治療の最適化

3. 日時 令和6年3月28日(木)

17時30分 ～ 19時30分

4. 会場 1号館9階 特別講堂

音楽、写真、動画、通信など様々な領域でのデジタル化は驚くべき速さで人々の日常生活に浸透してきた。歯科医療においても様々な医療情報がデジタル化され、歯科治療の進め方、つまり治療ワークフローが根本的に変わりつつある。例えば、口腔内スキャナーとモノリシック・マテリアルを用いれば、模型を使うことなくすべての治療過程をデジタルデータのやりとりで完遂できるモデルフリー・フルデジタル・ワークフローでの治療が可能である。その結果、時間的・空間的な制限を受けず、医療情報を保存、参照、活用することが可能になり、補綴歯科治療が飛躍的に合理化された。

講演では歯科医療情報の活用、特に口腔内スキャンデータ、Face スキャンデータ、CT スキャンデータ、顎運動データなど、様々な種類のデータの「統合活用」に焦点をあて、実際の症例を示しながら補綴歯科治療の最適化という点からデジタルデンティストリーの現状を解説し、今後の展開について考察したい。

連絡先：咬合機能健康科学分野 中禮 宏 (chu.spmd@tmd.ac.jp)